

# 発電所内のモニタリング状況等について (1～3号機放水路の調査状況等について)

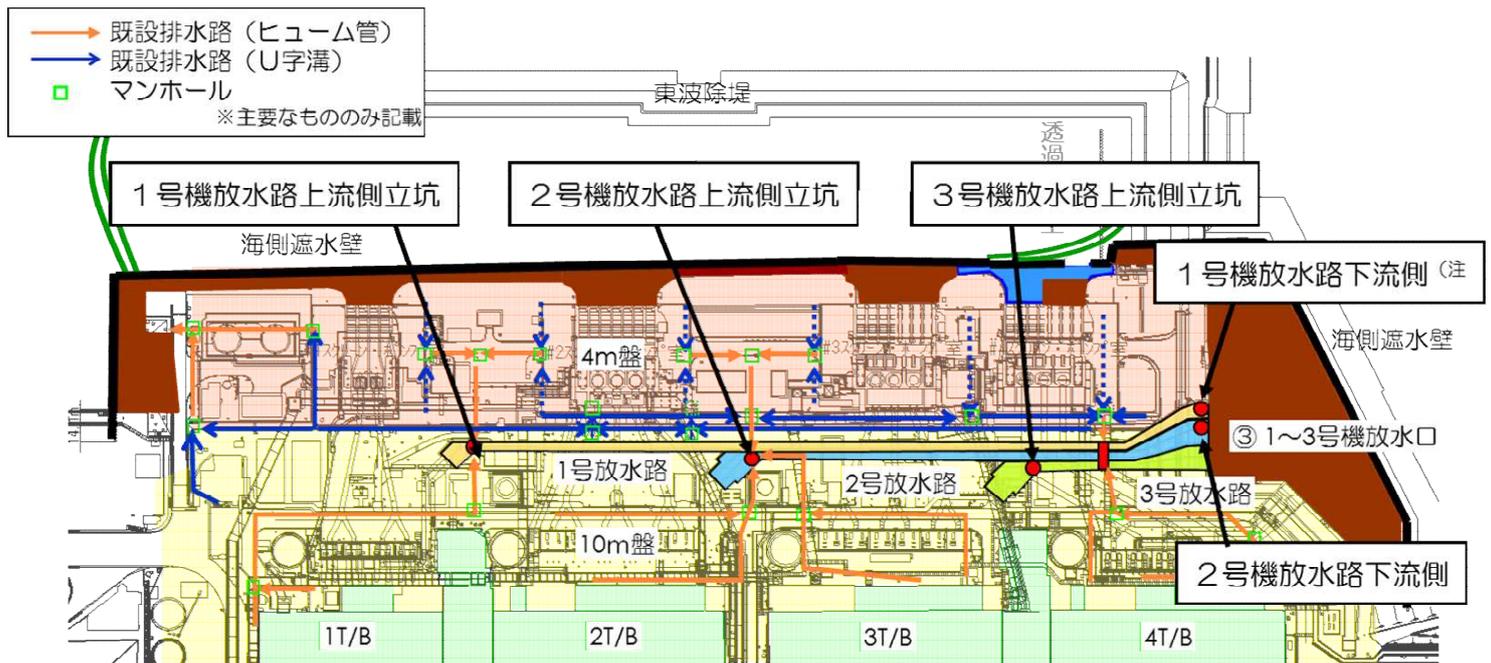
2015年10月1日  
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

## 1～3号機放水路及びサンプリング位置図（平面図）



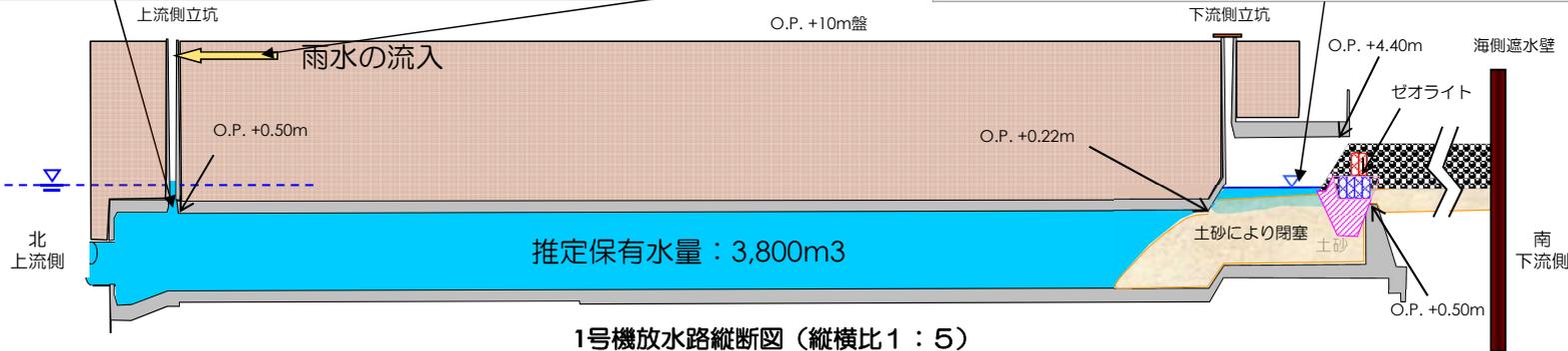
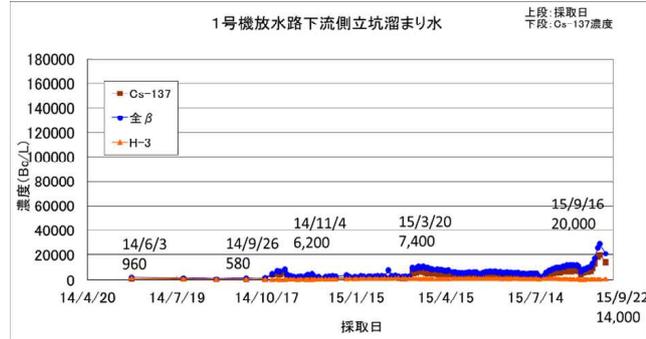
注：ゼオライト土のう設置（2月）以降、放水口から下流側立坑へのアクセス不可のため、放水口上部より採水

# 1号機放水路サンプリング結果

- 8月下旬より雨がが多く、1号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム137濃度は、9/2に降雨による影響と思われる濃度上昇を確認。昨年10月のセシウム137濃度、全β濃度を上回る濃度。
- その後、9月上旬も雨がが多く、下流側でもセシウム137濃度が上昇し、9/16に20,000Bq/Lまで上昇。
- 放水路出口（放水口）へのゼオライトの設置は完了しており、準備が整い次第放水路溜まり水の本格浄化を開始する。



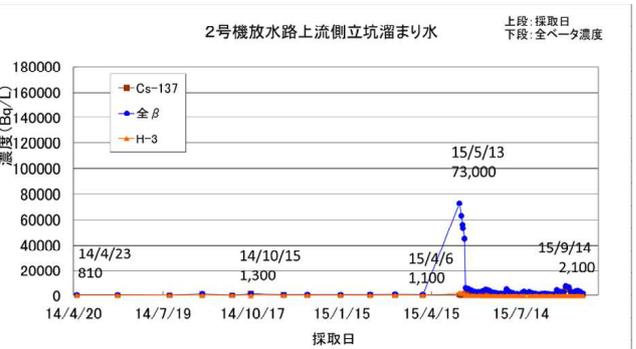
1号機上流側立坑流入水  
(1号T/Bビルドレ)  
・T/B東側地表)  
調査日: 14/10/6  
Cs134 : 420  
Cs137 : 1500  
全β : 1400  
H3 : 9.9  
(単位: Bq/L)



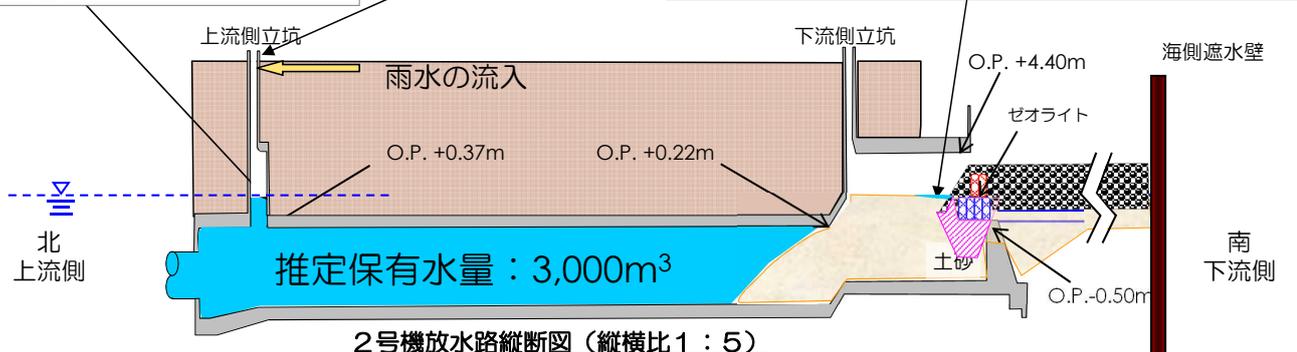
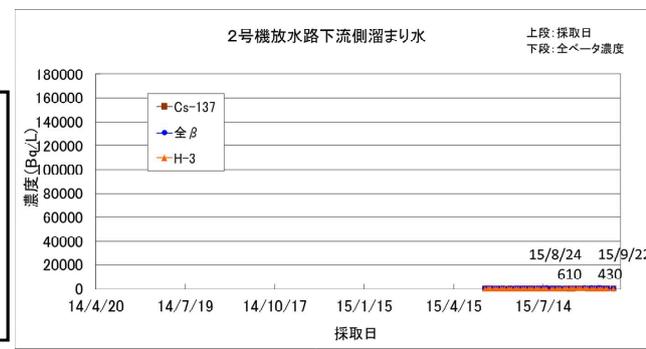
注: 放水口へのゼオライト設置により、放水口内への立ち入りができなくなったことから、3/20より放水口上部開口部から採水することとした。

# 2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、6月以降は1万Bq/Lを超える上昇は見られていない。
- 6月以降の全ベータ濃度の変動は、雨水排水の流れ込みによるセシウム濃度の変動によるものと考えられる。
- 放水路下流側（放水口）の全ベータ濃度も低濃度のまま上昇は見られていない。
- 5/13の濃度上昇は、一時的な少量の流入があったものと考えられるが、再現性はなく原因は不明。



2号機上流側立坑南側流入水  
(3号T/Bビルドレ)  
・T/B東側地表)  
調査日: 15/5/19  
Cs134 : 1,500  
Cs137 : 5,700  
全β : 7,700  
H3 : ND(110)  
(単位: Bq/L)



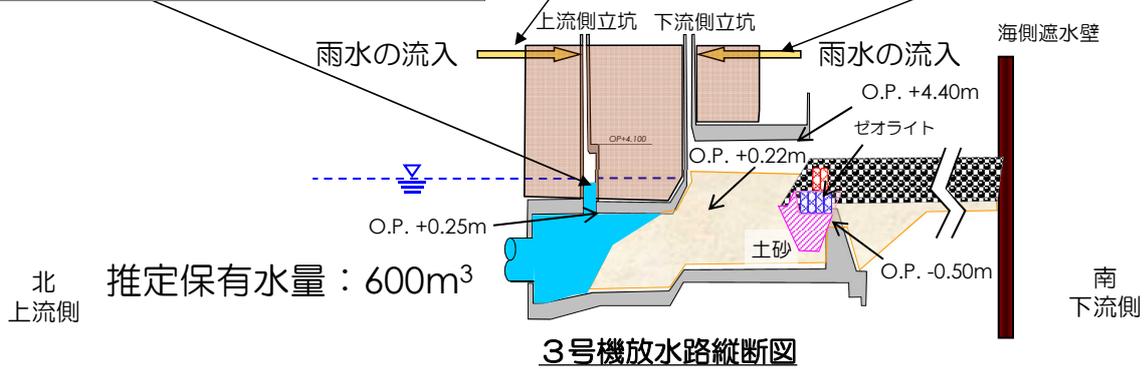
# 3号機放水路サンプリング結果

- 3号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- 放水口へのゼオライトの設置は完了済み。
- 引き続きモニタリングを継続する。



調査日	14/6/12
Cs134	1,400
Cs137	4,100
全β	4,800
H3	ND(9.4)
(単位: Bq/L)	

調査日	14/6/12
Cs134	1,000
Cs137	2,800
全β	3,900
H3	13
(単位: Bq/L)	



3号機放水路縦断面図